

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	2006年1月～2019年12月に胃がんに対して幽門側胃切除術を行った患者さん			
② 研究課題名	幽門側胃切除、ビルロートⅠ法再建における胃内容排泄遅延(DGE)予防のための至適切離ラインの検討			
③実施予定期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2025 年 12 月			
④実施機関	静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	大坪琢磨	所属	胃外科
⑥当院の研究代表者	氏名	坂東悦郎	所属	胃外科
⑦使用する検体・データ	胃幽門側胃切除後の切除検体の大弯長と小弯長、胃内容排泄遅延の発症の有無。			
⑧他機関への提供	有（国名、機関名、試料・データ名） 無			
⑨提供先の責任者	氏名		所属	
⑩目的	胃がんに対する幽門側胃切除において、残胃が大きいと胃内容排泄遅延という合併症が起こるリスクが高まります。一方、残胃が大きい方が術後の栄養が良いことが分かっています。今回、胃内容排泄遅延を予防し、なるべく大きい残胃となる切離ラインの目安を明らかにすることを目的とします。			
⑪方法	カルテから過去の患者さんの情報を収集し、切除検体の大弯長と小弯長を測定しました。それぞれの長さで胃内容排泄遅延発症の関連を調べました。			
⑫倫理審査	倫理審査委員会承認日		2024 年 10 月 24 日	
⑬公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑭プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑮知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターの規程に従って取り扱います。			
⑯利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑰資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑱問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。			
	後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長